

港町油津の歴史的環境保全に向けたまちなみの系譜調査

日大生産工 〇金井 凌介 日大生産工 坂本 喬
日大生産工 花井 向雅 日大生産工 永村 景子

1. はじめに

わが国の地方都市は、人口減少、少子高齢化に直面している。これに伴い、地域固有の歴史・文化を伝え継ぐ人材が減り、地域産業や生業とともに形成されてきた昔ながらのまちなみを知る人々がいなくなっている。これは、その地域が元来有してきた環境との共生の痕跡が消えつつあることを意味する。

本研究の対象地域である宮崎県日南市油津地区(以下、油津)は、こうした課題を抱える地域である。油津では、1980年代の堀川運河保存運動に端を発し、地域住民・行政・専門家らが、歴史ある運河を活かした地域活性化に積極的に取り組んできた。近年では中心市街地活性化事業が行われ、油津商店街は経済産業省の『はばたく商店街30選』に選ばれている。地域住民による取り組みも展開しており、地域の記憶を掘り起こし、魅力として発信する『港町油津“へえ” “ほお” まちあるき』という地域協議会主催のイベントが継続的に行われ、歴史的環境を活かした交流が活発化している。

約40年に及ぶこうした取組みの副産物として、地域産業や人々の暮らしの変遷、それに応じて変化したまちなみなど、近代の油津の地域環境の履歴を示す史料が多数、宮崎県日南市教育委員会(以下、市教委)に収集・保管されている。一方、これらの史料は時間的・空間的情報として整理されておらず、油津の環境がどのように変化し現在に至るのか、体系的に把握することが困難な状況である。さらにこうした時代を知る世代が高齢化し、過去の油津に関する情報を直接得られる機会が失われつつある。そこで本研究は、市教委に収集・保管されている史料のうち、主に古写真・古地図を用いて油津の環境変化を時間的・空間的に整理・把握することを目的とする。このようなまちなみの系譜調査は、保全すべき歴史的環境を顕在化するのみならず、地域住民の記憶を引き出したり、曖昧な記憶情報を補完する一助となることが期待できる。本研究では調査成果を地域活性化に貢献できるツールとして活用できる成果品の作成を目標とする。

2. 研究対象地域

対象地域である油津は九州地方の宮崎県宮崎市から南に直線距離にして約36kmの場所に位置する¹⁾。日南市は人口51,959人、地域面積4,096.0haであり、油津地区は人口5,690人、地域面積585.0ha³⁾、平成22年時点の年代分布では過半数が55歳以上である地域である⁴⁾。油津地区は、山ん田地区(西の峰周辺地域)、港地区(油津港周辺)、梅ヶ浜・春日地区(東の峰周辺地域)、新油津地区(堀川運河より北側地域)に分かれている⁵⁾。



図－1 油津の位置
(参考文献2)を基に筆者作成)



図－2 油津および堀川運河
(参考文献(2)を基に筆者作成)



写真-1 マグロ景気に沸く油津古写真
(昭和6年 油津商工案内より)



写真-2 堀川運河から飢肥杉を運搬する様子
(昭和56年 日南市教育委員会提供)

本研究対象地域は4つの地域のうち歴史史料が多く残されている港地区、梅ヶ浜・春日地区、新油津地区のうち図-2に示した範囲について調査を行う。油津港は東側と西側を峰と山にかこまれた天然の良港として知られおり、太平洋側から流れる黒潮の恩恵を受け漁業が盛んである。昭和初期にはマグロ景気に沸き、国から重要港湾指定を受けるなど油津の歴史において重要な港である⁶⁾。

また、廃藩置県以前は飢肥藩の統治下にあり当時から飢肥藩の財政を支えてきた飢肥杉を輸出するために油津港まで運搬していた歴史がある⁹⁾。その運搬に利用していたルートに堀川運河があり、油津を陰から支えていた⁹⁾。

3. 調査・研究方法

本研究は、宮崎県日南市油津地区を対象に、油津のまちなみの系譜を調査するため、古地図や古写真を現在の地図や写真と比較し、区画や建物の変化を確認することで、油津の街並みの変化を把握する。研究は(1)史料整理、(2)現地調査を実施していく。また研究に用いる資料は

表-1 提供史料一覧

区分	引用元	発行年	史料数
古写真	南日向大観	昭和10年	124
	油津商工案内	昭和6年	72
地図	明治37年陸地測量部	明治37年	1
	油津町全図	大正2年	1
	油津町	昭和2年	1
	油津歴史まちあるきマップ		1
	氏名入地図(飢肥・油津)	昭和33年	25
	ゼンリン	平成14年	12
年表	油津まちづくり年表	平成19年	1
	油津まちづくり年表2	平成19年	1
	日南市歴史資源活用関係年表	平成19年	1
	日南油津まちづくり年表	平成31年	1
	にちなんおもしろ学入門	平成29年	1
その他	油津の街並みと堀川運河	平成9年	1

表-1の通りである。史料は、市教委より提供いただいたことを付記しておく。

(1). 史料調査

① 史実の整理；文献調査、岡本氏へのききとり調査

対象地域の現況を把握するために、油津の歴史やこれまでの取り組みについての文献調査を表-1の史料を用いて整理する。市教委で長年にわたり史料の収集・管理を担当している岡本武憲氏への聞き取り調査を行う。

② まちなみの変化の把握；古写真の撮影場所特定、位置の特定

古写真(表-1)をGoogle Earthや「氏名入地図(飢肥・油津)」を用いて古写真に記載された注意書き(町名、氏名、地形など)を照らし合わせながら場所の特定を行う。

(2). 現地調査

① 油津の景観の現況調査

資料調査のみでは分からない対象地域の情報について、現況調査として対象地域を踏査し、地形やまちなみの把握、油津の景観を把握する。

② 古写真と現在のまちなみ比較調査

建物や風景の変化を分析するために、(1).①史実の整理で特定した古写真を、現在の写真と比較する。調査対象は表-1の南日向大観と商工案内のうち場所の特定できたものとする。

4. 調査成果

2019年8月26日から27日の2日間、現地調査を行い、その時点で撮影場所の特定を終えた古写真に合わせて同じ撮影地点での撮影と岡本氏へのききとり調査などを行った。

(1). 史料調査

① 史実の整理, 岡本氏へのききとり調査

史料整理により, 油津の変遷をまとめた(表-2)。岡本氏へのききとり調査により古写真の場所の特定を確認を行った。また, 特定できなかった古写真の場所について, 岡本氏が把握している情報を記録した。

② まちなみの変化の把握, 写真の撮影場所特定、位置の特定を行った。

まずは古地図と古写真から昭和5年当時の油津のまちなみを把握した(図-1, 図-2)。



写真-3 打ち合わせの様子

表-2 油津の変遷

出来事	資料
貞享3(1686)	鉄砲の輸送等のため「堀川運河」開削。
明治17(1884)	松光灯台完成(日本最古のコンクリート灯台)
明治22(1889)	市町村制施行(油津町7月1日)
明治24(1891)	油津町大火
明治32(1899)	港内西側に導流堤
明治36(1903)	油津堀川運河に石橋堀川橋(乙姫橋)完成
明治37(1904)	地図(陸地測量部)
明治41(1908)	京屋(渡辺与一)が大原商船油津荷役店
大正2(1913)	宮崎最初の軽便鉄道が鉄砲油津間に開通
大正6(1917)	全国で最初の漁港指定(農商務省指定、6箇所を受く港湾整備)
大正10(1921)	杉村金物本店赤レンガ倉庫完成
大正11(1922)	河野宗泰家倉庫(油津赤レンガ館)完成
昭和2年(1927)	油津町地図
昭和4~16(1929~1941)	クロマグロ水揚げ東洋一/マグロ會館
昭和6(1931)	写真74枚(油津町商工案内)
昭和9(1934)	油津港平面図
昭和10(1935)	油津地図・堀川古写真1枚 マグロ水揚げ2枚
昭和12(1937)	国鉄が油津まで開通・油津駅(二代目)開業
昭和15(1940)	油津港大節地区写真4枚
昭和19頃まで	鉄砲杉景気、マグロ景気に続く。 沿岸には、貯木場、木材関連施設、造船場等が立ち並ぶ
昭和16(1941)	鉄砲油津間軽便鉄道廃止 北郷地区から材木を油津港へ搬出するための貨物支線開業
昭和20(1945)	油津空襲/第二次世界大戦終戦
昭和25(1950)	宮田市油津市鉄砲市東郷村が合併し日南市制施行
昭和27(1952)	重要港湾指定
昭和28(1953)	油津港工事風景1枚
昭和28(1954)	貿易港指定
昭和30(1955)	日南海岸が国定公園に指定
昭和30年代	石積み護岸のコンクリートによる増格が進む 水運の衰退、堀川運河の水質悪化が進む
昭和33(1958)	油津港の外堤防が完成 日本で初めてテトラポットが工事で使用

駅周辺には製材関連の建物、堀川運河沿いは商業地が広がり、港周辺には魚問屋や漁業組合、人や荷物の運搬など、港湾に寄与したまちなみが広がっていた。さらに、これらのまちなみが現在、どのように変化しているのか調査した。古写真、古地図と現在の写真、地図(Google Earth)を比較し視点場の検出調査(図-3)を行い、撮影箇所ごとの住所・座標をGoogleマップやGoogle Earthを用いて記録した(表-3)。

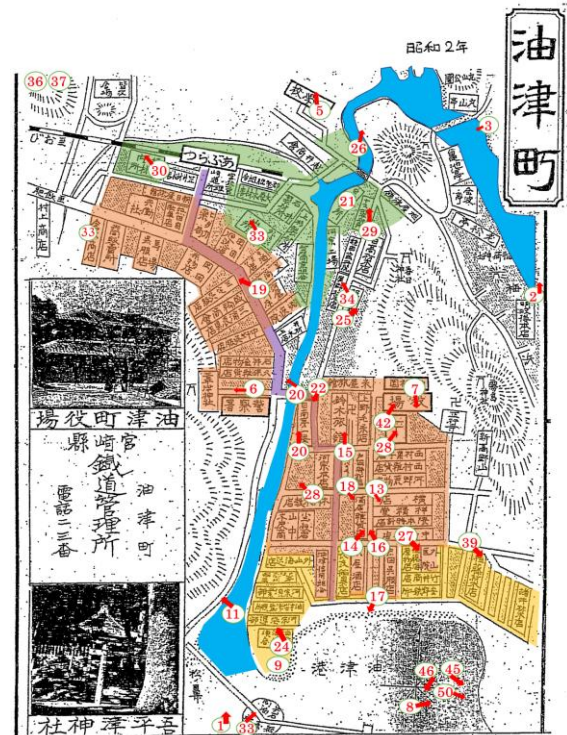


図-1 昭和2年 油津町

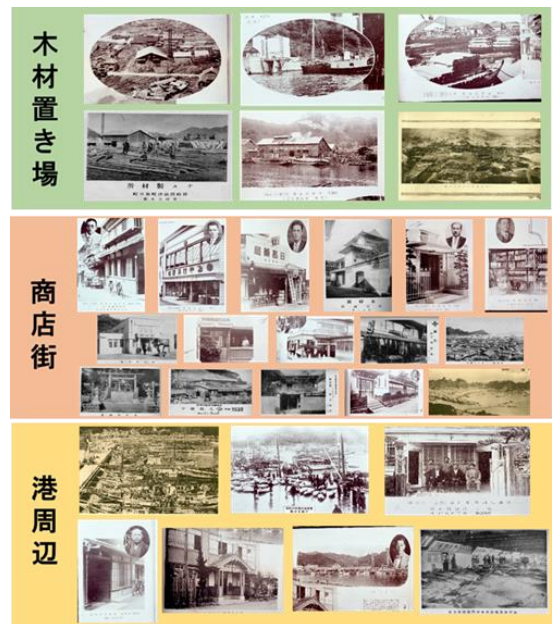


図-2 昭和初期 油津の古写真

表-3 視点場の住所座標一覧

視点番号	古写真	住所(場所)	緯度	経度
1	油津港ノ一部	日南フェニックスロード付近	31.5772	131.3991
2	梅ヶ浜(雀八重)	平野	31.3505	131.2439
3	祇園神社	梅ヶ浜1-8	31.3523	131.2429
5	油津尋常高等小学校	園田2-11-1	31.3527	131.241
6	吾平津神社	材木町9-10	31.350459	131.2404
7	市街地ヨリ見タル港口	油津市営住宅津の峯団地 油津1-4-21	31.35049	131.241295
8	油津漁業組合ヨリ見タル港内景	油津2-7	31.344933	131.241565
9	油津漁業組合市場屋内鮎陸揚全景	油津2-10	31.345199	131.24075
10	木材商 河宗商店	油津1-7-13	31.350079	131.240842
11	服部別荘	西町1-4	31.345743	131.240539
13	横店	油津1-10-25	31.350107	131.2412.63
14	石油商 河野宗人	油津1-9-13	35.350011	131.241057
15	御旅館 鈴木旅館	油津1-2-6	31.3502.45	131.2409.54
16	杉村金物店 杉村富士太郎	油津1-6-13	31.3501.86	131.2411.66
17	川俣本店	油津2-8-6	31.34571	131.2412.22
18	外山医院	油津1-9-2	31.3500.76	131.2409.43
20	久保藤平	材木町9-9	31.350530	131.240608
21	日州織工所	春日町13-32	31.351574	131.24127
22	日南第一	油津1-1-8	31.350391	131.240722
24	油津漁業組合事業所	油津2-11	31.345317	131.240653
25	材木商 服部右平次商店	春日町3-5	31.350902	131.241127
26	日南製薬株式会社	瀬尾3-1	31.353085	131.241293
27	佐藤鋸蔵	油津2-6-9	31.345765	131.241639
28	油津郵便局	油津1-4-15	31.350293	131.241265
29	ナ久製材所	春日町13-24	31.351577	131.241458
30	構内製材所	岩崎2-2-18	31.351958	131.235649
31	外山勇平	岩崎2-3-23	31.351822	131.235293
33	昭和石油販売所		31.344503	131.240501
34	材木商 鹿野久吉商店	春日町4-9	31.351015	131.241092
35	小玉藤八商店	油津1-1-11	31.350205	131.240.706
36	宮崎県油津町上水道貯水池ト水道部員	木山3-10	31.353.775	131.234441
37	宮崎県油津町上水道通溝池	木山3-10	31.353.775	131.234441
39	海産物問屋 黒木清八	油津3-6-1	31.350013	131.241943
42	油津消防組第一消防庫	油津市営住宅津の峯団地 油津1-4-21	31.35049	131.241295
56	油津漁業組合揚場ノ簡実況	油津2-10	31.345199	131.24075

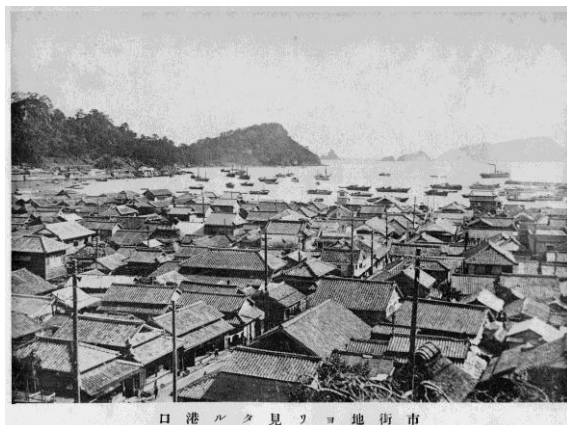


写真-4 油津港の古写真



写真-5 油津港(筆者撮影)
(昭和6年 油津商工案内より)

(2)現地調査

この古写真-は図-3の視点番号7「市街地ヨリ見タル港口」から撮影したものである。

この古写真は写真奥にある山の形や、古写真がまちを俯瞰的に映していることから高い場所からまちが撮影されているものと考え、撮影場所を特定した。しかし、左側の山の形や建物の向きなどから、やや撮影位置が異なっていることがわかる。これは古写真が撮影された場所には現在アクセスできないことを現地にて確認した。

5. おわりに

今回の調査成果では、史料整理や、古写真の場所の特定調査の結果を示した。昭和33年の古地図を用いて、これまで撮影場所の特定が出来なかった古写真の撮影場所を再び検討していく。次回の現地調査では「へえ～ほお～まちあるき」への参加を予定しており、現地の方々の記憶にあるまちなみや、調査成果の還元方法に関する情報収集を行う予定である。

参考文献

- 1) 国土地理院：地理院地図（電子国土web）<http://maps.gsi.go.jp>
(最終閲覧日 2019-10-17)
- 2) 株式会社ゼンリン ゼンリン電子地図帳 Z20（発行 2018）
- 3) 日南市都市計画マスタープラン
(発行 2014)
p.24
- 4) 前項 3) pp.6-7
- 5) 日南市産業活性化協議会「油津」其の二 海と光と風の地名録
pp.12-13、(発行 2010)
- 6) 日南市教育委員会
にちなんおもしろ学入門
p.38 p.43 p.75
(発行 2017)